

無料コンテンツ#1 ギターのチューニングについて

講師:イシイタカユキ

教則本等で紹介されていて、大多数の方が利用しているチューニング方法といえば、次の3種類だと思います。

- ①各弦の開放弦をチューナーで合わせる。
- ②各弦の5フレットと開放弦を順番に合わせる（5弦5フレットと4弦開放、など）。
- ③各弦の5フレットと7フレットのハーモニクスで合わせる。

しかし、これらの方法には次のような問題点があります。

- ①チューナーでは微妙なピッチ（音程）のズレを判断できない。
- ②開放弦（特に低音弦）は、弾いた直後に弦の振り幅が大きくなりやすく、その結果、アタック時にはピッチがシャープ（#）し、減衰しながら安定していく傾向にあるので、チューニングには使用しないほうが良い。
- ③7フレットのハーモニクスは純正律の5度なので、フレットを押さえた音（平均律）よりピッチが2セント高くなる。

そこで今回おすすめするのは、開放弦と7フレットのハーモニクスを使わない方法です。オクターヴ・チューニングしたギターなら、かなり正確に平均律チューニングできます。是非試してみてください。

【チューニングの手順】

- ①5弦の5フレットまたは12フレットのハーモニクス（A音）を、チューナー、音叉、ピアノ等に合わせる。
- ②チューニングした5弦A音を基準として他の弦をチューニングする。
まずは5弦12フレットのハーモニクス対4弦7フレットを押さえた音。
- ③5弦12フレットのハーモニクス対3弦2フレットを押さえた音。
- ④5弦5フレットのハーモニクス対2弦10フレットを押さえた音。
- ⑤5弦5フレットのハーモニクス対1弦5フレットを押さえた音。
- ⑥ここだけE音を使いますが、基準は5弦です。
6弦12フレットのハーモニクス対5弦7フレットを押さえた音。

各弦のA音に限らず、指板上のどこのどの音があるのかをきちんと把握できていない方は、是非、有料コンテンツ『効率よく学ぶジャズ・ギター』シリーズのレッスン#1、「ジャズ・ギター上達のための基礎を作る！5つの基本コード・フォームと度数&インターヴァルの視覚化」をご覧ください。